



整体名人「快快」の科学的検証

最先端光脳機能計測装置の計測実験

株式会社自然治癒力活性医学研究所

1 整体名人「快快」の効果測定する実験

脳卒中は現在日本の死亡順位の第3位で年間約13万人の尊い命が失われています。さらに脳卒中は命をとりとめても多くの人がその後、重い後遺症に生涯苦しめられて生き続けなくてはなりません。この数は147万人と推定され、2020年には300万人にもなるとの報告もあります。

自然治癒力活性医学研究所では、これまでマウスピース整体名人「快快」を多くの病気の後遺症で悩む患者様にご提供してきました。これらの体験販売を通して、とても感動した場面に出会うことも多くありました。それは、高齢者や脳卒中の後遺症の為、車椅子に乗ったり、杖をついて歩いている人達が、整体名人「快快」を装着した直後に車椅子から降りて歩き出したり、杖をつかずに歩けるようになるなど、驚くような出来事でした。

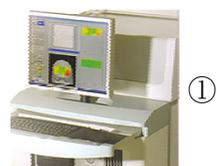
そこで今回、整体名人「快快」が脳にどのような影響を与えているかを科学的に解明するため、またリハビリ効果にどのくらい有効に働くかの解明をするため、最先端の脳機能計測装置で計測実験を行ってみました。

2 光脳機能計測装置とは

光脳機能計測装置は、頭の表面から頭蓋骨の中に向けて安全な近赤外線を照射し、反射した光から脳を計測します。近赤外線の照射によって、大脳の表面のシワ部分の血流量変化から脳の活動状況がリアルタイムで計測できます。

今までの計測器械は脳波・PET・f-MRIなどが有りましたが、リアルタイムでの長時間計測が出来ないとか、全く身動き出来ない状態での計測とか、問題がありました。さらに微量でも放射能を浴びる危険性もありました。

この光脳機能計測装置は動作をしながらでも、また長時間の計測も可能であり、また放射線を浴びないので誰にでも安全に計測できる日本で開発された新しい装置です。開発は10余年前だそうですが、実用に耐えるようになったのは、ここ2年位前からだそうです。日本全国にまだ200台程しかない器械です。余談ですがアメリカにはベンチャー企業が製作した十数台しかないそうです。日本の技術力のすごさに驚かされます。



①



②



③

3 実験内容

- A. 何もつけないで計測
- B. 整体名人快快を装着

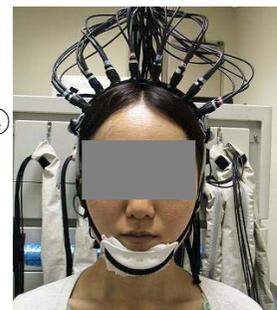
実験1.快快を装着するだけで脳反応が起こるかどうかの検証

実験2.より重いものが持てる(ダンベル)効果の検証

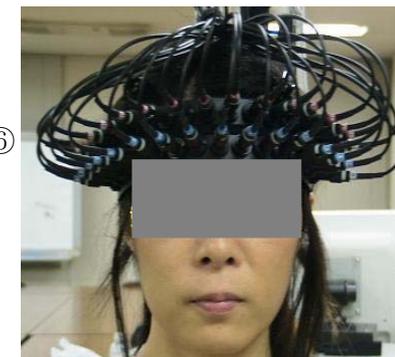
実験3.身体が動かしやすくなるかの検証

実験4.左右片足立ちによるバランスの検証

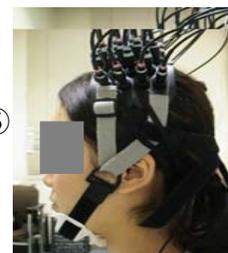
実験5.快快装着時間と脳作用の関係の検証



④



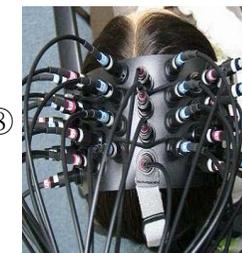
⑥



⑤



⑦



⑧

写真①光脳機能計測装置

写真②実験の様子

写真③被験者に快快を装着

写真④⑤運動野の計測

写真⑥⑦前頭葉の計測

写真⑧頭上から見た運動野の計測

実験1. 快快を装着するだけで脳反応が起こるかどうかの検証

快快を装着するとブロードマン10野(脳の番地10番)で活発な脳活動が計測されました。このブロードマン10野は思考回路を司る所で、ここが働く事は**集中力がアップ**するとか**記憶力が良くなる**可能性があります。つまり快快は脳の活動の**活性化**にも関与します。

実験2. より重いものが持てる(ダンベル)効果の検証

500gでも2kgの重さを持った時でも脳は**活性化**されました。また**持つ時に意識をしなくとも脳への活性化は起こりました**。
500gから2kgに加重が増大すると脳に**リラックス化**が引き起こされました。これは**リラックス効果で本来持つよりも軽く感じている**といえます。
ダンベル負荷のまとめとして、重いものを持ち上げるのに、**より強いパワー**がでようになりました。本人が意識しなくとも重いものが持てるようになりました。

実験3. 身体が動かしやすくなるかの検証

歩行課題は歩行時に前頭葉に脳の**活性化**がより強く働きました。これは集中しやすい環境にあってモチベーションも上がると見えます。
歩行のまとめとして快快は安静時には**リラックス効果**があり、運動時には**力強くなる**などと、全く逆の作用が起こります。つまり状況に応じた作用を起こします。

実験4. 左右片足立ちによるバランスの検証

右片足立ちでも左片足立ちでも脳の酸素効果の変化量を軽減させる作用が認められました。これは快快をすることによって脳に対する負荷が減って**省エネで立てる**ということです。同じ立つのに10の酸素を必要としているか、100の酸素を必要としているか。10なら酸素は楽で余力が有る事です。

実験5. 快快装着時間と脳作用の関係の検証

快快は15秒間の装着でも脳に作用していることが判りました。これは装着直後に効くとの裏づけです。快快は赤血球の数の変動より、毛細血管内の酸素化に効率的です。これは血液量は上げないが脳の酸素消費に有効に作用していると言うことです。酸素効率を良くしている事、つまり、**楽に物事が遂行できる**と言うことになります。

* さらに詳細な実験データをご希望の方は、切手80円を同封してお申し込みください。
〒233-0001 横浜市長南区上大岡東1-9-7-2F ㈱自然治癒力活性医学研究所

今回の計測した結果、実験1.から実験5.の検証から脳のリハビリ目的として

- A. より重いものが持てる
- B. 身体が動かしやすくなる
- C. 回復効果

が認められましたので、**脳卒中のリハビリにも効果が大きく期待出来ます。**

薬や手術だけでは良くなれません。

身体を悪くする元凶は身体の歪みから来るバランスの不調です。

手術をしても薬を飲んでも、快快に向かうか否かは、ご自身が本来持っている自然治癒力の強弱が大きく影響します。自然治癒力活性医学研究所が健康について25年かけて開発したものが「快快」です。1回2分、1日5~6回歯で支えるだけで全身のバランスが正常に戻ります。具合の悪い人ほど早く身体の変化に気がつくので悪い人で2、3日普段自分は健康でどこも悪くないと思っている人でも6日間しますと今までとは違った身体になっていることに気がつくことでしょう。ご自身に「快快」が有効か否かは装着したその瞬間に確認できます。装着した方が身体にとって良い場合には、身体の柔軟性が増し、筋力も強くなり、首や肩の違和感もなくなります。

身体の調子がわるい時は、クォーツ時計、金やプラチナの装身具、磁気ネックレス、磁気健康具や健康増進の為に愛用している健康食品が身体のバランスを悪くしている原因となっている可能性があります。すべてを身体からはずし、摂取も控えて様子を見ましょう。

100%効果をあげる為に

カイロプラクティック治療をしていても良くならない患者さんがいます。その原因は日常の悪い姿勢を改善する意志のない人です。身体が悪くなる為には何らかの原因があります。その第一が悪い姿勢です。身体が捻じれている為に良い姿勢を保つのがつらいので楽な悪い姿勢をします。マウスピース**整体名人「快快」**をしますと捻じれが復元できますので後は、その人の長年の身体にしみついた悪い癖(くせ)を直す必要があります。悪い癖をなおさずにただ「快快」をするだけでは良くなれません。